

# 2024年 大学生の就職率98.1%！ 調査開始以降、過去最高

前年より0.8ポイントアップ！

旺文社 教育情報センター 2024年6月4日

5月24日、文部科学省と厚生労働省は、2024年3月卒業の大学生・短大生などの就職率を公表した。4月1日現在の就職率は、大学生98.1%（前年同期比0.8ポイントアップ）、短大生97.4%（同0.7ポイントダウン）。大学の国公・私立大別、男女別、文系・理系別は、いずれの区分でもアップした。文科省・厚労省による本調査は、就職状況などの実態を把握することで就職に関する問題に対処するため、1996年度（1997年4月就職者）から実施されている。

## ◎文部科学省・厚生労働省「大学等卒業者の就職状況調査」の概要

- ・調査依頼先＝設置者・地域を考慮して抽出。
- ・調査方法＝各校で調査対象学生を抽出。電話・面接などで就職希望の有無、内定・就職状況などを調査。
- ・調査時期＝10月1日、12月1日、2月1日、4月1日。
- ・就職率＝就職希望者に対する就職者の割合。

## ※2023年度（2024年就職者）の調査数

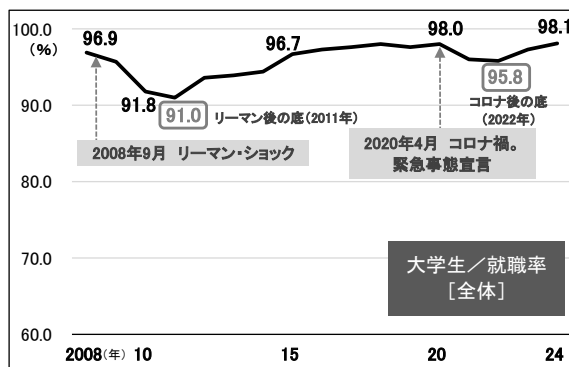
- ・国立大21校、公立大3校、私立大38校、短大20校、高等専門学校10校、専門学校（専修学校〔専門課程〕）20校。
- ・対象者数＝大学・短大・高専…計5,690人、専門学校…560人（短大は女子のみ、高専は男子のみを抽出）。
- ・過年度も同様の調査方法・規模で実施。

## ◆2024年4月の大卒就職率が過去最高の数字に

文科省・厚労省の調査によると、2023年度の大学卒業者の就職率（就職者÷就職希望者）は、1996年度の調査開始以降、過去最高の98.1%となった。コロナ禍により2021年・2022年に落ち込んでいた就職率は、昨年は前年より1.5ポイント、今年は0.8ポイントアップした。

設置者別で見ると、国公立大は過去最高、私立大も過去2番目に高い率となった。

## ■大学生の就職率[全体]



◎以下、本ページ以降、全グラフとも共通。

※文部科学省・厚生労働省「就職状況調査」より作成。

※各年4月1日現在の就職率。[例]2024年は、2023年度

卒業生の2024年4月1日現在の就職率。

※就職率＝就職希望者に対する就職者の割合。

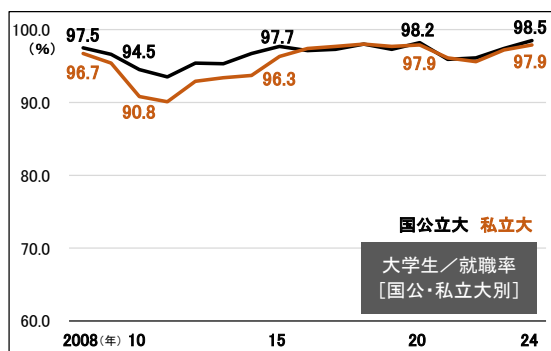
男女別では、男子は過去最高、女子は過去4番目に高い率。文系・理系別では、文系は過去2番目に高く、理系は過去最高の率を示した。

2008年9月のリーマン・ショック後と同様に、2020年からのコロナ禍も大学生の就職率に影響を及ぼした。2021年の就職率は、当時過去最高だった2020年に比べ2.0ポイントダウンの96.0%に。そのダウン幅は、リーマン・ショック後の2010年の3.9ポイントダウンに次ぐ大きさだった。さらに、2022年も小幅（0.2ポイント）ながらダウンした。

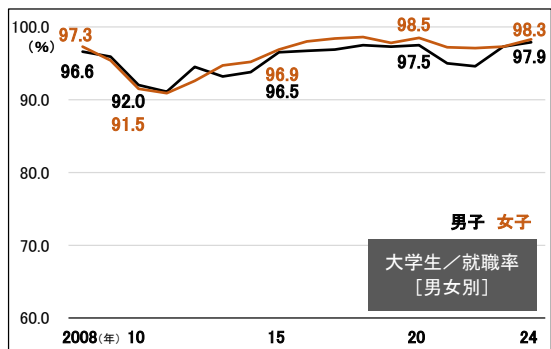
やがてコロナへの社会的対応が進んだことや、2023年5月にコロナが5類感染症に移行したこと、また、労働人口減少下で人材確保をはかる企業活動などにより、昨年・今年の就職率は好転したと見られる。なお、今年4月の大卒就職者は、4年制大学の場合、コロナ禍初年度に大学に入学した者たちだ。

以下、就職率に関する区分別の推移グラフを掲載。

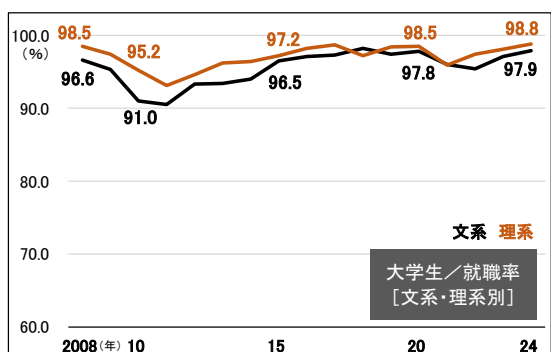
### ■大学生の就職率 [国公立大・私立大別]



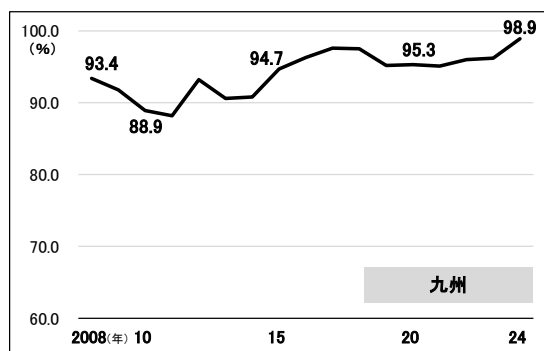
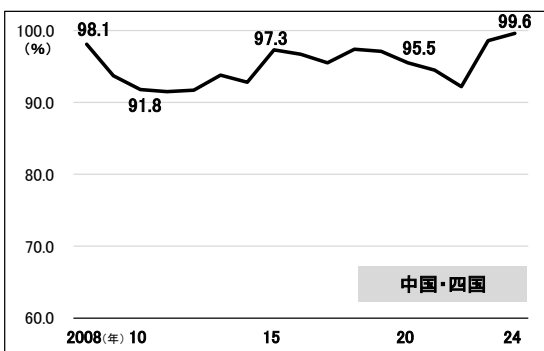
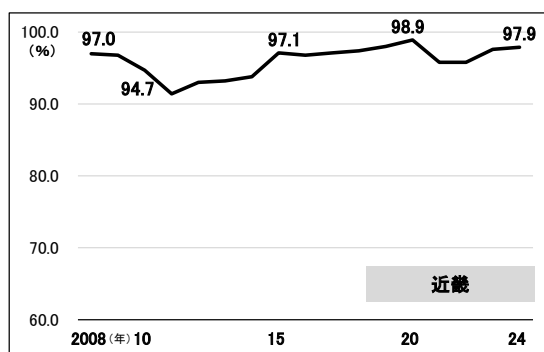
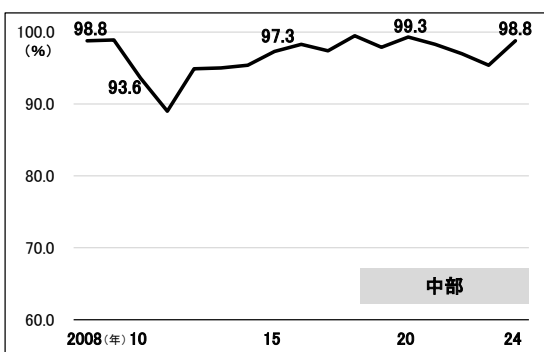
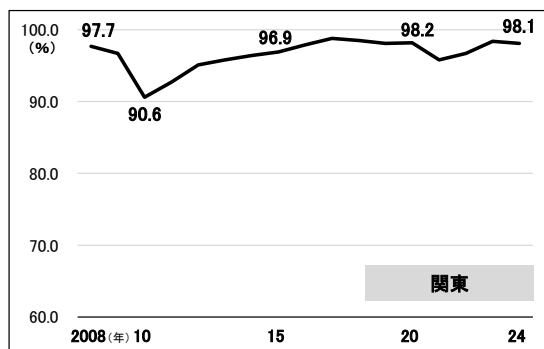
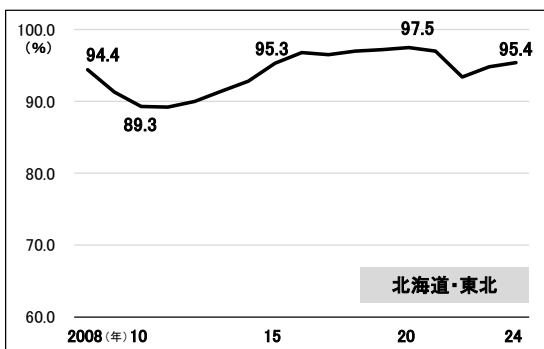
### ■大学生の就職率 [男女別]



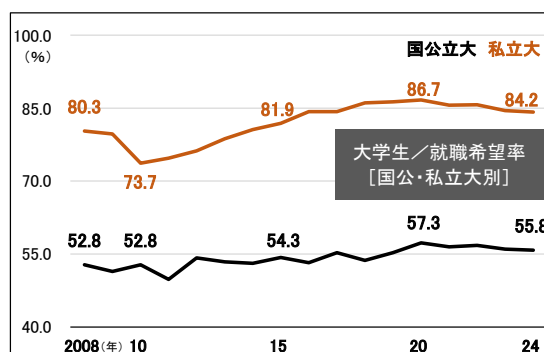
### ■大学生の就職率 [文系・理系別]



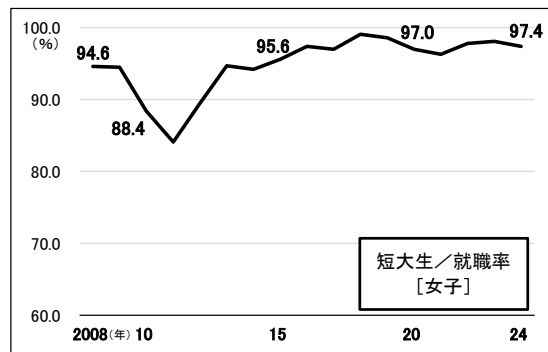
■大学生の就職率[エリア別]



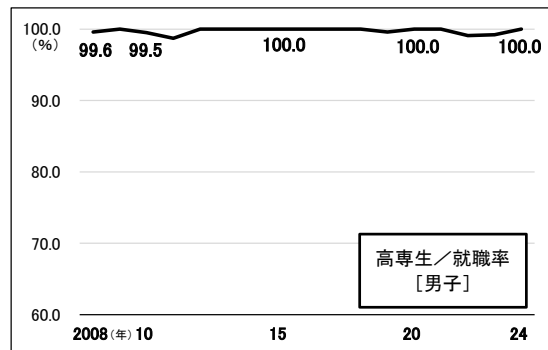
■大学生の就職希望率[国公・私立大別]



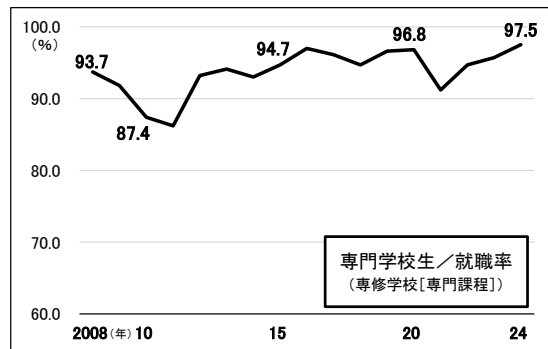
■短大生[女子]の就職率



■高専生[男子]の就職率



■専門学校生の就職率



(2024.6 加納)